

= 政治信条 =

# 政治は 人の幸せを 調整する仕事。

その為には、まず街を歩いて  
本当の弱者を知らなければならない。

## うらみち健一プロフィール

【2019年4月(平成31年)4月神奈川県議会議員選挙三期目当選】

県議会議所  
【県議団】  
役員(筆頭副団長)  
【所属委員会】  
環境農政常任委員会  
決算特別委員会(副委員長)



立憲民主党  
・民権クラブ

健一

# 神奈川県

## 議会レポート

季刊  
うらみち健一  
二〇二二年春号



【発行】  
立憲民主党・民権クラブ港南区港南台3-1-13 1-202  
神奈川県横浜市港南区港南台3-1-13 1-202  
TEL: 045-1370194 31

## 第34回 全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会

# ねんりんピックかながわ2022

神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔 未病改善でスマイル100歳

2022/11/12(土) - 2022/11/15(火)

「ねんりんピック」の愛称で親しまれる「全国健康福祉祭」が、本年11月に神奈川県で開催されます。健康及び福祉に関し、60歳以上の高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的として、昭和63(1988)年から開催されています。本県の総合計画である「かながわグランドデザイン第三期計画」において、将来の「あるべき姿」として【コミュニティの再生・活性化による笑い溢れる100歳時代】を目指しています。既に始まっている高齢社会において、お一人お一人が元気に暮らせるよう「食」・「運動」・「社会参加」の三つの柱で未病改善に取り組んでいきます。その取り組みやスポーツイベントを通じ、神奈川の魅力発信を兼ね、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の翌年の開催を目指し、平成25(2013)年に国に



対して立候補し、「ねんりんピックかながわ2022」が開催されることになりました。大会テーマは、「神奈川に咲かせ長寿の いい笑顔」未病改善でスマイル100歳」で、大会目標は、「未病改善で笑顔溢れる人生100歳時代を目指す」・「誰もがともに生きる社会の実現に向けた大会」・「ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを引き継ぐ大会」・「多彩な魅力に富む「かながわ」を実感できる大会」の四つを掲げ、県内26市町で32種目が行われます。また、文化・芸術・音楽等の関連イベントも開催され、地域や年代を超えた交流の場も提供されます。

# 令和4年度神奈川県一般会計予算:2兆3448億円!!

～「いのち」と「暮らし」を守り、新しい日常へ～

神奈川県は、新型コロナウイルス感染症対策として、**県民の「いのち」を守るため**、医療提供体制の確保に全力で取り組みるとともに、**県民の「暮らし」を守るため**、県内経済の回復に向けた支援を展開するための予算を編成しました。**コロナ禍で顕在化した生活困窮者対策**や、医療的ケア児等への支援といった新たな課題に取り組みるとともに、新しい日常に向けたデジタルの活用をさらに進めていきます。水防災戦略の推進や県立教育施設の整備など、**県民生活に直結する事業を着実に推進し、特に緊急的な対応が必要となる急傾斜地崩壊対策や交通安全施設整備など、県民の安全・安心のためのインフラ等**については、**整備を加速**化させていきます。

## 新型コロナウイルス感染症への対応

県内の医療崩壊を防ぎ、県民の命を守るため、ワクチン追加接種の実施（促進）など、感染拡大防止対策や医療提供体制の維持に取り組んでいきます。未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況下において、感染拡大・重症化を回避するため、ワクチンの追加接種の体制を強化するため、迅速かつ円滑に**個別接種や職域接種に対応した医療機関等に対し支援金を支給**します。また、民間検査機関での行政検査に係る費用や、PCR検査費用の**自己負担相当額を公費負担**します。病床・宿泊療養施設



コロナ病棟の光景:イメージ

設に關しては、感染症患者の受入に必要な病床を**2800床**確保します。さらに、自宅療養が困難な方の宿泊療養施設は**約3800室**を借り上げ、本県が運営していきます。

## コロナ禍における生活困窮者対策

既に二年を超えて長期化している新型コロナウイルス感染症は、県民生活に大きな影響を及ぼし、特に「**子ども**」や「**孤独・孤立に陥っている方**」への影響が顕在化しています。こうした生活困窮者の支援のために、公助の取組を一層推進するとともに、NPOや企業と連携し共助の取組でサポートしていきます。コロナ禍でニーズが高まっている**子ども食堂**ですが、未来を担う子ども達への食事を提供する活動の継続のため、新しい生活様式に対応した取組を行う**子ども食堂運営者に協力金を支給**すると共に、活動団体のネットワーク化を支援していきます。また、失業や生活困窮により住居を失ったり、その恐れがあるなど、不安定な居住状態にある方の生活再建を後押しするため**住居探しから定着までの一貫した支援**を実施していきます。



子ども食堂の光景:イメージ